

地軸

おととい、思い立って松山総合公園に向かった。お目当ては秋の七草フジバカマ、ではなく花に遊ぶアサギマダラ。2匹だけだったが、しばし優雅な舞を楽しませてくれた▲「旅するチョウ」として知られ、マーキング調査で分かった移動距離は2千^キにも及ぶ。県内には1日に数百匹を数える場所もあるようだ。松山学院高生が住民と協力してフジバカマを植えるなど「誘致」を目指す地域は少なくない▲渡り鳥顔負けの高い能力の秘密は、羽の面積に対して体重が軽いこと。松山南高のグループが数値を計測して他の複数種類のチョウと比較、分析。省エネ飛行を裏付けた。とはいえ筆者が過去に出合った中には羽を傷めた個体もいた。旅の過酷さがうかがえる▲こちらも道のりは険しい。サッカーJ2の愛媛FCが再び降格する。J3で優勝し、昇格の喜びに沸いてからわずか2季。低迷の要因には現場とフロント双方の力不足が指摘される。早期復帰へ解決すべき課題は山積み▲県民の関心をつなぎ留めるにはひたむきなプレーが必須となろう。屈辱の瞬間をイレブンと共有した知人は「戦う姿勢を感じたのが救い」と希望を見いだしていた。今季は残り4試合。意地を見せてほしい▲アサギマダラと入れ替わるように、冬鳥の飛来が本格化する。渡り鳥は多くが同じ場所に戻ってくるという。愛媛FCもかくありたい。ただしJ2は通過点。長い旅のゴールはもっと先に。